



# 碧南ロータリークラブ週報

第3104回例会 令和6年9月4日(水)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内
- 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也

## ● 斉 唱

国歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のお弁当

大正館

## ● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 副本部長 鳥居牧夫様  
碧南市スカウト育成連絡協議会 碧南第一団 団委員長 小島壮持様

## 会 長 挨拶

失礼致します。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

先週はガバナー補佐訪問のご対応をいただき、ありがとうございました。例会終了後のクラブ協議会では白熱した意見の交換ができて、内心ひやひやしておりましたが、無事に終わり良かったなど安堵しております。出席された方は状況がよくわかっていると思います。

まだまだ暑い日が続いていますが、9月を迎え、秋についてのお話を少しさせていただきます。秋の夜は長く、長月や夜長月と呼ばれます。他にも五節句の1つである9月9日の重陽（ちょうよう）の節句ということで、菊の節句に因んで菊月とも呼ばれます。ご存知の方が多いと思いますが、五節句というのは1月7日が人日（じんじつ）の節句（七草の節句）、3月3日が上巳（じょうし・じょうみ）の節句（桃の節句）、5月5日が端午（たんご）の節句（菖蒲の節句）です。7月7日が七夕（しちせき）の節句、七夕（たなばた）とは呼ばないんです。



鈴木泰博会長

けれども、星まつりということです。もう1個が9月9日の重陽（ちょうよう）の節句（菊の節句）です。

9月15日頃の十五夜は、月を愛でながら収穫に感謝する日で中秋の名月と呼ばれ、今年の中秋の名月は9月17日で満月の1日前です。去年は9月29日で、何で12日も違うんかなあと思いながら調べたんですけれども、旧暦をもとに決められているので毎年変わるということだそうです。

秋分の日にお供えするおはぎなんですが、春はぼた餅と呼ばれております。粒あん、こしあんの両方がありますが、おはぎは秋に収穫したばかりの小豆を粒あんで、ぼた餅は冬を越して固くなった小豆をこしあんにして作ったそうです。私はこしあんが好きなので、春も秋も妻にお願いしてこしあんで作っていただくようにしております。

それで私お恥ずかしながらなんですが、おはぎのハギって花のことがよくわかってなくて、ススキのことをハギだと勘違いしてしまっていて、秋の七草を見ておりましたら、全然違うものが載ってございまして、無知だなあと思いながら七草を見ておった次第です。

本日のクラブフォーラムは青少年の関係で、スポーツ少年団の鳥居様とスカウト育成連絡協議会の小島様にお話ししていただきます。よろしくお願い致します。

以上です。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更のお知らせが届いております。9月145円でございます。
- ・ ガバナー月信9月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ ロータリー文庫運営委員会より「ロータリー文庫 決算書・予算書」が届いております。
- ・ 2025-2026年度西三河分区ガバナー補佐事務所（知立RC）より「ガバナー補佐・分区幹事就任挨拶」が届いております。
- ・ 刈谷RCより2024-2025年度クラブ事業計画書が届いております。
- ・ 本日の例会終了後に201号室で第3回理事会を開催致しますので、役員、理事の方はご出席いただきますよう、よろしくお願い致します。



大竹密貴幹事

## 委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 61 名（内出席免除者 14 名の内出席者 12 名）出席者 52 名	
出席対象者 52 / 59 名	出席率 88.13%
欠席者 9 名（病欠者 0 名）	

## <ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 今月もよろしくお祈いします。  
角谷 信二君 木村徳雄さん、ありがとうございます。  
長田 豊治君 今月、喜寿（呼びの77才）となります。ここまで、ロータリアンとして来られたのは、皆様のご支援のおかげです。感謝。  
清澤 聡之君 碧南市スカウト育成連絡協議会に助成たまわり、ありがとうございます。

## <親睦活動委員会>

### 会員誕生日

- 12日 長田 豊治君（喜寿）  
13日 岡本 明弘君      25日 石川 鋼逸君      30日 竹内 康人君

### 奥様誕生日

- 6日 長松 政孝君の奥様 久美子様      15日 長田 和徳君の奥様 真由美様  
17日 三木 信幸君の奥様 みのり様      21日 竹中 誠君の奥様 みのり様  
26日 森田 雅也君の奥様 康江様

### 結婚記念日

- 2日 梶川 光宏君・久実子様 23年      24日 黒田 昌司君・みゆ子様 45年  
26日 山中 寛紀君・恭子様 42年      30日 杉浦 邦彦君・真理子様 23年

## クラブフォーラム

### 「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」

碧南市スポーツ少年団 副本部長 鳥居牧夫様



鳥居牧夫様

改めまして、こんにちは。

碧南市スポーツ少年団 副本部長の鳥居牧夫と言います。よろしくお祈いします。こんな凄い会だと思わずに出掛けてきてしまってちょっと後悔しておりますが、事務局の方からスポーツ少年団の紹介資料ということでもらっておりますので、これを読んで紹介をさせていただきます。

団の発足なんです、今から37年前にできました。平成13年に組織を立て直して、現在の形態となっております。平成13年当時は6種目27単位団で、団員数は1,044名でした。現在は種目も増えまして、9種目32単位団で、総勢1,263名が加入しております。この中で多いのがサッカーで、団数としては10団体、団員数が592名ということで、半分弱がサッカーの団員になっております。また、市内の小中学生の約20%、5人に1人ぐらいは何らかの形でスポーツ少年団に入っているというような状況です。

スポーツ少年団の活動としましては4つありまして、1つ目が指導奨励費補助事業ということで、各団体へ活動補助として資金面の援助を行っております。今いただきました補助金

を大事に使わせていただきますので、よろしく申し上げます。

2つ目が指導者養成事業としまして、指導者講習会の開催を毎年行っているんですが、今年からはスタートコーチ養成講習会を開催する予定であります。また、消防署さんとも連携しまして、救命救急講習会を毎年1回開催しております。指導者養成事業の2つ目としまして、指導者が各資格の取得とか講習会に参加する際の費用の補助をさせていただいております。

3つ目が安全確保推進事業ということで、コロナ感染や熱中症の予防対策として市内スポーツ店で使用可能なスポーツ商品券 3,000円分を各団体に発行しております。今年度はWBGT計（熱中症指数を測定しアラームで警報する装置）を各団体に貸与するなどして、熱中症対策にも努めているところであります。

4つ目が事業活動推進事業としまして、運動適正テストを年に1回開催し、団員の運動能力の把握に努めているというところです。

その他としまして、優先的に活動場所の確保をしたり、大会に対して賞状や賞品を支給したりしてサポートを行っているという現状です。私は少年野球の関係でスポーツ少年団に入っているんですが、特にグラウンド等の場所を優先して確保できるようにさせていただいているところが、少年野球としてはありがたいところでもあります。

ちょっと短かったかもしれませんが、以上で終わります。ありがとうございました。

## 碧南市スカウト育成連絡協議会

### 碧南第一団 団委員長 小島壮持様



小島壮持様

紹介に与りました碧南第一団 団委員長の小島と申します。

碧南には第一団と第二団の2つがあります。現在、約80名近くの子供たちが活動しております。特に碧南第一団なんですけれども、昭和39年に発団して60年を超えております。今年

の11月に熊野神社で60周年記念をしたいということで、今準備をしております。当クラブの皆様には発団当初から応援をさせていただきまして、テントとか色んな装備についても応援をさせていただきました。本当にありがたいと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。

話がコロッと変わりますけれども、今年の8月にキャンプに行ったんです。新城の山の中に愛知県が持っている吉川野営場というキャンプ場があります。小学生と中学生を連れてキャンプに行ったんですけれども、たまたま東京連盟の方々が泊まりでテントで寝ていました。子供たちに「今年は何泊？」と聞いたら、「9泊10日。」と言われてびっくりしちゃって、こちらは3泊4日、向こうは10日間も山の中でテント生活をしている。大きな大会でも1週間ぐらいですけれども、10日間は長いよなあと思って子供たちに「帰りたい？」と聞いたら、「帰りたくない！もっといたい！」という声が多くて、「早く家に帰りたい。」と言ったのはリーダーの方でした。子供たちは凄いですね。山の中で10日間、楽しみ方を知っているんですね。今年は天気が良すぎちゃって凄く暑くて、多分準備も大変だったというふうに思います。私たちは短い期間で楽しんで帰ってきましたけれども、子供たちのパワーには頭が下がるような思いがします。これも普段の訓練の賜物かなあというふうに思いますし、一般の子供た

ちにはなかなかできないんじゃないかなあと思いました。

私は一旦家に帰ったんですけれども、東京連盟の方々がまだいるということで、今度はキャンプファイヤーを見るためにもう一度吉川野営場まで行きました。それでキャンプファイヤーを見たんですけれども、リーダー並びに訓練されたスカウトたちの姿に感銘を受けました。今年の11月に記念キャンプを熊野神社で行いますけれども、東京連盟の方々のキャンプファイヤーの技術を取り入れて、盛大にやりたいなあというふうに考えております。また、当クラブにもご案内をさせていただきますので、ぜひ式典には参加していただきたいというふうに思います。

話がコロコロ変わって申し訳ないですが、最後に子供たちによく話すエピソードをご紹介します。皆さんも知っている「ウサギとカメ」という昔からのお話です。ウサギとカメが競争し、途中でウサギが寝てしまい、最後はカメが勝つというお話なんですけれども、実はその後、何度も競争が行われます。ウサギは寝ずに山の頂上まで一気に駆け上がり、当然ウサギが勝ちます。ところが、カメはゴールした瞬間に「やったー！」と喜びます。なぜでしょうか？カメは勝負には負けていましたが、何度も挑戦するうちにタイムが縮まり、自分の成長を感じていたんです。隣の人と比べる必要はなく、何度も挑戦することで少しずつ上達していくことを大切にしようと子供たちに伝えております。これは大人の世界でもよくあるような話です。

くだらない話かもしれませんが、聞いていただきまして、ありがとうございました。

## 次回例会案内

令和6年9月18日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和6年9月24日（火）会場：碧南商工会議所

ガバナー公式訪問（高浜RC合同）

ガバナー 吉川公章氏、地区幹事 片桐 満氏

令和6年9月25日（水）は24日（火）の振替休会